

## 第5章

# 活気に満ちたまちづくり (産業、観光、市民文化)

### ◇章の目標

市内のさまざまな産業の振興を図るとともに、地域の特性を活かした観光資源のアピールや新しい市民文化の創造・発信に取り組むことで、まちそのものの活気、そこに住むひとの活気に満ちたまちをつくります。

### ◇施策体系

#### 第1節 農業の振興

- 第一項 農業基盤の強化推進
- 第二項 農業生産の振興
- 第三項 地産地消の促進

#### 第2節 商工業の振興

- 第一項 活動支援の推進
- 第二項 基盤整備の推進
- 第三項 労働環境の整備
- 第四項 雇用の促進
- 第五項 経営基盤強化支援の推進

#### 第3節 観光の振興

- 第一項 資源開発の推進
- 第二項 資源活用の推進
- 第三項 魅力事業化の推進

第4節 市民文化の振興

- 第1項 市民文化創造
- 第2項 市民文化の発信

◇関連する基本計画等：『まち・ひと・しごと創生総合戦略』

## 第1節

# 農業の振興

### ●政策目標

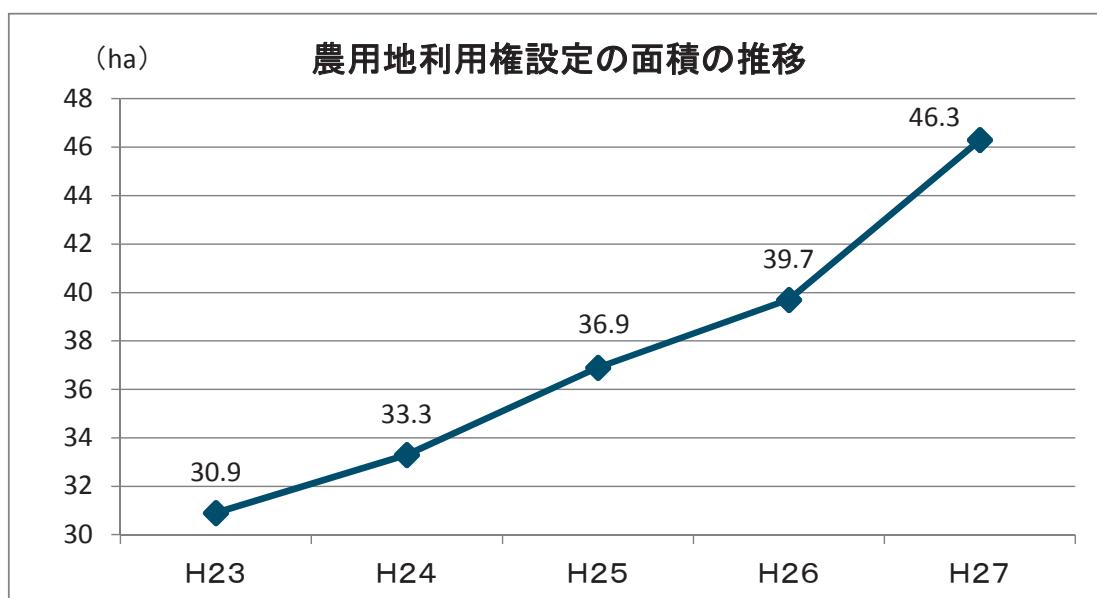
地域の特性を活かし、市民や消費者にとって魅力ある農業が展開されるまちを目指します。

### ●重点的取組

農業基盤の強化推進

### ●成果指標

指標	内容	現状値	目標値
農用地利用権設定の面積	農地中間管理事業などの展開に伴い集積される面積から、農業基盤の強化推進が図られているか判断します。	46.3ha	90.0ha
茶畠と狭山茶が入間の魅力や個性として感じている市民の割合	市民意識調査の結果から、農業生産の振興が図られているか判断します。	80.8%	85.8%
地場農産物を使用した給食の提供回数	地場農産物を使用した給食の提供回数から、地産地消の促進が図られているか判断します。	85回	90回



## 第1項 農業基盤の強化推進

### ○施策の目指す姿

農業者、農地および農業施設といった農業生産における基盤が整備された、都市近郊農業の盛んなまち。

### ○施策の現状

農業後継者団体や農業生産団体の活動を支援することで後継者等の育成に努めるとともに、農業者や市民

のために農業施設を設置し農業の振興を図っています。しかし、農業後継者の不足と農業従事者の高齢化は進んでおり、遊休農地\*や不耕作地\*が顕在化してきています。

## ○施策の課題

- ・農業の担い手の確保に取り組む必要があります。
- ・遊休農地や耕作放棄地の解消など農地の保全に取り組む必要があります。
- ・経年劣化などにより各農業施設に不具合が生じており、その改善に取り組む必要があります。

## ○施策の方向性

### 農業生産団体の育成・支援

農業生産団体の育成のための助成などに取り組みます。

### 多様な担い手の育成・確保

認定農業者、新規就農者、法人など多様な担い手の確保・育成、女性の農業経営への参画の推進に取り組みます。

### 遊休農地等を含めた農地の利用集積の推進

農地の利用集積のための農地中間管理事業を実施します。

### 農業施設の充実

農業振興につながる農業施設の機能維持や改善を図ります。

## ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
認定農業者および認定就農者の数	認定農業者および認定就農者の合計数から、農業の担い手の育成・確保の状況を判断します。	57人	64人
農地中間管理事業による農地の出し手（提供者）の累計人数	市内の農地の集約状況から、農地としての保全状況を判断します。	0人	200人

## ○協働のとりくみ方向 【市民主導】

農業生産団体や認定農業者などとの十分な協議に基づき、その支援に取り組みます。

## 第2項 農業生産の振興

## ○施策の目指す姿

特産「狭山茶」や野菜、畜産等の生産が盛んな、農業者がいきいきと生産できるまち。

## ○施策の現状

特産「狭山茶」の生産振興を図るために、優良品種の普及、省力化機械の導入などを促進しています。また、畜産経営を支援し、家畜伝染病の予防や環境への影響を軽減するために必要な薬剤等の購入補助、周辺環境の保全に努めています。

\*遊休農地：耕作の目的に供されておらず、かつ引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地。

\*不耕作地：高齢化、過疎化による人手不足で、過去1年間耕作されたことがなく、今後数年の間に再び耕作する意思のない農地。

## ○施策の課題

- ・効率的な農業の実施により農業の生産性を向上させ、農業者の所得の向上を図る必要があります。
- ・茶業においても、生産農家が減少しており、対策を講じる必要があります。
- ・経済のグローバル化により輸入農畜産物の増加が予想されるため、対策を講じる必要があります。
- ・本市の農業をアピールするための工夫が必要です。

## ○施策の方向性

### 生産の高効率化による品質向上、生産量の増大

農薬の購入に対する補助などを通じて、生産の高効率化による品質向上などに取り組みます。

### 「入間ブランド」の生産振興

生産者の6次産業化の支援、加工機能の充実化、食品産業との連携による経営体质の強化などを通じて、「入間ブランド」の生産振興に取り組みます。

### 安定した農業経営の確立

経営の法人化の支援、農業機械の導入に伴う借入に対しての助成などを通じて、安定した農業経営確立の支援に取り組みます。

### 農産物のプロモーション強化

さまざまな機会を捉えての地場農産物のPR強化を推進します。

## ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
本市の農業者と商工業者との情報交換会への参加者数	農業者と食品産業、飲食店との情報交換会の参加者数から、入間ブランドの進展状況を判断します。	新規	20人
各種資金制度の活用件数	近代化資金・スーパーL資金等の制度の活用件数から、効果的な援助ができるかを判断します。	20件	30件

## ○協働のとりくみ方向 【市民主導】

農産物のブランド化、プロモーションなどの支援を通じて、農業生産の振興に取り組みます。

## 第3項 地産地消の促進

## ○施策の目指す姿

消費者が安全・安心な地場農産物を手に入れることができ、農業者が自信をもって生産できるまち。

## ○施策の現状

市内ではJAの直売所1箇所のほか、各スーパーで地場農産物が販売されています。また、毎週土曜日には農業者団体が主催する「ふれあい朝市」が開催され、市民に親しまれています。一方で、地場農産物は、他産地の農産物との違いが明確でない点がセールス上の弱みとなっています。すべての学校で地場農産物を使用した給食が提供されていますが、栽培される野菜の種類に限りがあるため、学校給食での使用は種類や時期が限られています。

## ○施策の課題

- ・安全・安心で旬な農産物であることや、農家お勧めの食べ方などの情報を消費者へ発信し、食材としての信

頼を得る取組を推進する必要があります。

- ・地場農産物を一般的な食材から、消費者にとって魅力のある商品（付加価値のある食材）へ発展させるため、マーケティングと商品化に向けた取組やPR活動への支援が必要となります。
- ・地場農産物の消費を拡大し、魅力と特長を市場へ発信するために、生産者と消費者の交流の場が必要となります。
- ・年間を通じて、地場農産物を学校給食で利用できるようにするために、生産者と作付を含めた話し合いが必要です。

## ○施策の方向性

### 地場農産物の販売促進活動の推進

地場農産物の販売促進のためのPR活動を推進します。

### 生産者と消費者の交流活動の推進

生産者と消費者の交流を通じて、地産地消を推進します。

### 学校での地場農産物の利用促進

学校関係者と生産者の意見交換の実施、地場農産物を提供できる枠組みづくりなどを通じて、学校における地産地消に取り組みます。

## ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
農産物の直売会実施回数	ふれあい朝市等の開催回数から、地場産農産物のPR体制の充実度を判断します。	51回	55回
給食における地場農産物の使用月数	学校給食の献立で地場農産物食材を使用した給食の提供月数から、地場農産物の有効利用状況について判断します。	6ヶ月	9ヶ月

## ○協働のとりくみ方向 【市民主導】

地産地消を活発にするために、地場農産物のプロモーション活動の支援等に取り組みます。

## 第2節

### 商工業の振興

#### ●政策目標

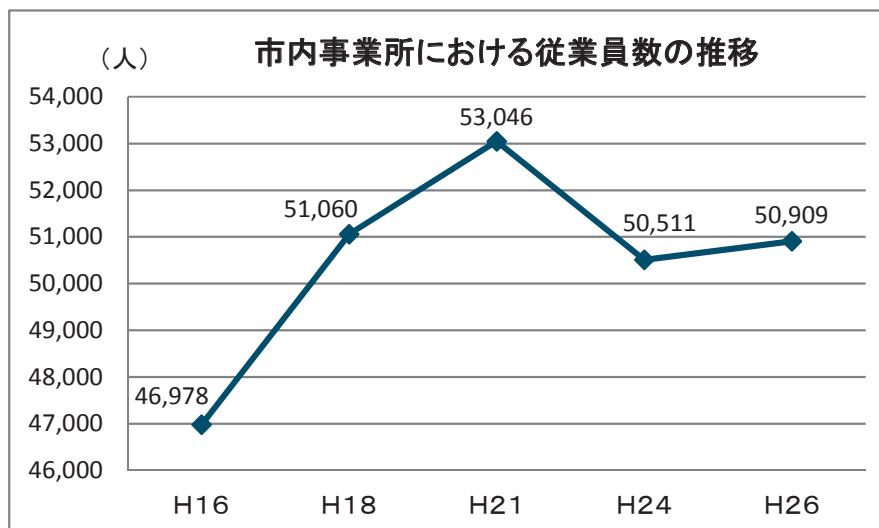
地域経済が活性化し、地域と密着した力強い産業活動が展開されるまちを目指します。

#### ●重点的取組

活動支援の推進

#### ●成果指標

指標	内容	現状値	目標値
市内事業所数	事業所数の増加の状況から、企業誘致活動の効果を判断します。	4,986 事業所	現状維持
市内事業所における従業員数	従業員数の増加の状況から、雇用環境の整備や就労支援の成果を判断します。	50,909 人	現状値以上



#### 第1項 活動支援の推進

##### ○施策の目指す姿

商工業者の産業・経済活動が活発で、にぎわい・活気のあるまち。

##### ○施策の現状

入間市商工会（会員数 2,645 事業所（平成 28 年 3 月 31 日現在））では、経営改善の指導のほか地域経済振興事業に取り組んでおり、入間市工業会（会員数 91 社（平成 28 年 4 月 1 日現在））では、事業を通じて会員相互の情報交流、従業員の資質の向上、余暇活動の充実、社会貢献に取り組んでいます。市内には 29 の大規模小売店舗（平成 28 年 4 月 1 日現在）があり、事業所数は 4,986（H26 経済センサス）となっています。また、商店街は 4 か所あり、すべて県の「黒おび商店街」\*の認定を受けて共同事業に取り組んでいます。なお、4 商店街の中には開店が可能な 1・2 階の空き店舗が 17 店舗あります。

\* 黒おび商店街：元気な商店街として活動している地域を埼玉県が認定するもの。

## ○施策の課題

- ・郊外型大型店の進出により、市内小売店の景況は厳しくなっており、対策を講じる必要があります。
- ・市内中小規模店舗・事業所の支援や地域経済振興事業に取り組んでいる商工業団体が活発に活動できるよう支援する必要があります。
- ・各商店街が活発な活動ができるよう、支援する必要があります。
- ・空き店舗を解消し、にぎわいあるまちづくりを形成する必要があります。

## ○施策の方向性

### 商工業団体・商工業振興事業の支援

商工業団体の運営費補助、商工業振興事業への事業費補助などに取り組みます。

### 商店街の活性化支援

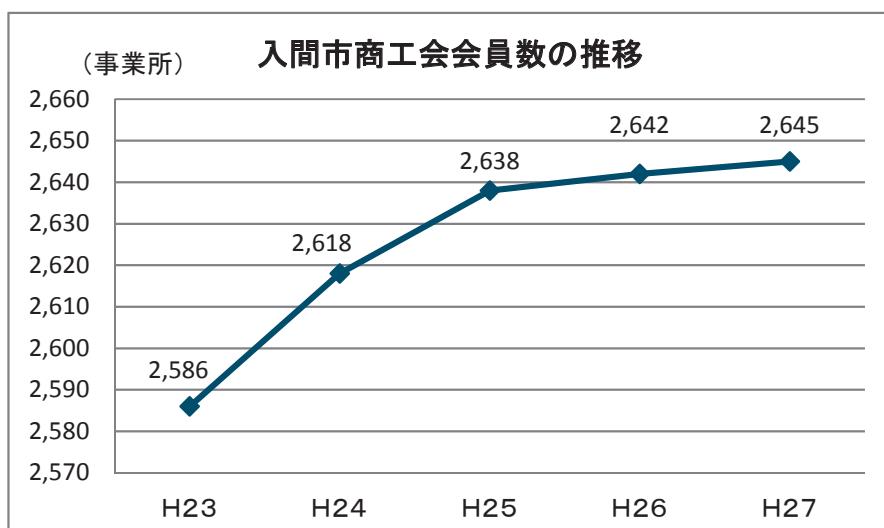
運営費・イベント事業への補助、情報提供や国・県への補助申請等の商店街の活動支援、商店街や空き店舗の活用事業等に取り組みます。

### 中心市街地の活性化

マネジメント組織の活動支援などに取り組みます。

## ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
入間市商工会会員数	地元商工会の会員数の増加数から、その活動の活性・成果の状況を判断します。	2,645 事業所	2,663 事業所
入間市工業会会員数	工業会会員の増加状況から、会員相互の情報交流、従業員の資質の向上、余暇活動の充実、社会貢献といったことにおける市内企業の貢献度を判断します。	91 社	100 社
商店街空き店舗数	空き店舗の減少割合から、活気ある商店街の形成が進んでいるかを判断します。	17 店舗	8 店舗



## ○協働のとりくみ方向 【市民主導】

商工業団体、商店街等が主体となり、地域経済振興事業を通じて消費の拡大に取り組みます。

## 第2項 基盤整備の推進

### ○施策の目指す姿

企業誘致等により雇用が拡大し、経済的な面で安心して生活できるまち。

### ○施策の現状

本市では、武蔵工業団地、狭山台工業団地および金子・野田のミニ工業団地を中心に工業が発展してきています。業種は多種にわたりますが、自動車関係の製造業を中心となっています。現在、企業誘致に適した大きさの事業用地がないため、工業団地内の企業数は横ばいとなっています。

### ○施策の課題

- 本市の工業の発展、雇用の創出・拡大のために企業が誘致できる用地の確保が必要です。

### ○施策の方向性

#### 企業誘致の検討・推進

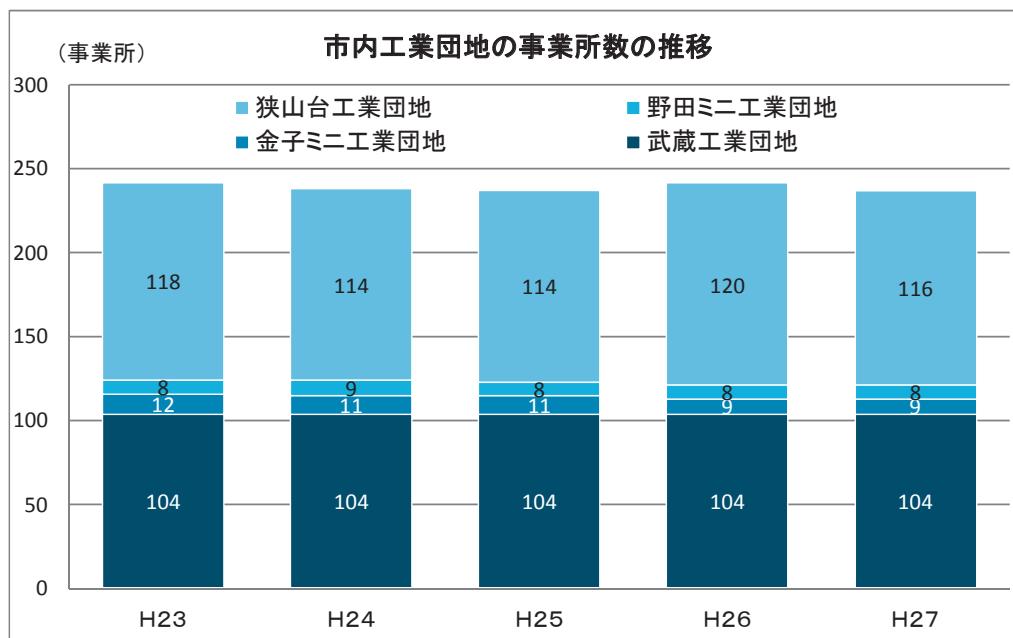
工業団地内等の事業用地情報の収集、事業用地確保の検討などを通じて企業誘致に取り組みます。

#### 商業系・物流系・情報通信系企業の誘致検討

雇用の促進につながる企業誘致を検討します。

### ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
市内工業団地の事業所数	雇用の場となる市内工業団地の事業所数から、就労環境の改善状況を判断します。	237件	現状維持



### ○協働のとりくみ方向 【行政主導】

企業を誘致し、雇用の場を創出することで、地域経済の活性化に取り組みます。

## ○関連施策

第4章・第1節・第1項「土地利用計画の策定と推進」

## 第3項 労働環境の整備

### ○施策の目指す姿

安心して働くことができる労働環境が整備され、勤労者が明るく充実した生活を送ることができるまち。

### ○施策の現状

正社員、派遣社員、契約社員、パート社員など雇用形態の多様化が進むとともに、少子高齢化に伴い、定年の延長や定年後の再雇用等が進み、労働形態も複雑な環境にあります。より良い職場環境を作るために労働相談を実施し、さまざまな問題の解決を図っています。

### ○施策の課題

- ・少子高齢化が進み、労働力確保に向けた職場環境の改善に対する施策が必要となります。
- ・勤労者の就業意識や定年延長に伴うライフスタイルが変化していく中で、勤労者の福利厚生におけるニーズも多様化しつつあり、今後は中小企業の勤労者を中心に福利厚生の充実を図っていくことが求められています。

### ○施策の方向性

#### 職場環境づくりの推進

企業人権問題講演会、労働関係法令等の講座の開催などを通じて、良好な職場環境づくりを推進します。

#### 労働相談の充実

労働相談を実施し、労働環境の改善につなげます。

#### 勤労者福祉の増進

勤労者住宅資金貸付制度の運用、入間市勤労福祉センターの活用、労働相談の実施など、勤労者福祉の増進に取り組みます。

#### 勤労者の技能向上

技能功労表彰などを通じて、勤労者の技能向上を推進します。

#### 従業員の仕事と家庭生活の両立

ワーク・ライフ・バランスを考慮した労働環境の整備を求めていきます。

### ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
企業人権問題講演会の参加人数	企業人権問題講演会の参加人数から、企業の人権意識の高揚の達成度を判断します。	96人	100人
労働相談件数	労働相談の件数から、相談者の問題解決に寄与できているかを判断します。	18件	25件

### ○協働のとりくみ方向 【行政主導】

勤労者が働きやすい職場環境づくりを整備し、充実した生活ができるまちづくりを支援します。

## 第4項 雇用の促進

### ○施策の目指す姿

多様な人材に対する雇用が確保され、雇用機会が安定的に求められるまち。

### ○施策の現状

国や県と連携して労働施策を展開しています。また、インターネットを活用した情報提供により、雇用の確保を図っています。

### ○施策の課題

- ・労働力確保に向けた企業の求人情報の提供と就業機会の創出に向けた施策の展開が求められています。
- ・企業から求められる人材の育成を図る必要があります。
- ・採用する側の企業の希望と求職する側の市民の希望とをマッチングさせる仕組みづくりが必要です。

### ○施策の方向性

#### 企業の求人情報等の提供

ハローワークと連携して、地元企業の求人情報や研修機会の情報を市民に提供します。

#### 地元企業の雇用対策の支援

就職面接会等の実施、地元企業の就業体験や説明会、見学会などに取り組みます。

### ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
雇用対策事業の実施回数	面接会、就業体験、説明会、見学会等の実施回数から、雇用対策の進捗度を判断します。	27回	30回

### ○協働のとりくみ方向 【行政主導】

地元企業の支援などと連携した取組を通じて、雇用環境の改善、充実に取り組みます。

### ○関連施策

第6章・第3節・第3項「就労支援の推進」

## 第5項 経営基盤強化支援の推進

### ○施策の目指す姿

市内中小企業の経営基盤が強化された、地域経済に活力のあるまち。

### ○施策の現状

中小企業への制度融資実行数は10件（平成27年度）、商工業振興条例に基づく特定地域工場設置事業等補助金は5件（平成27年度）です。中小企業の受発注を促進するためにも、協力企業の開拓・情報収集・新たな取引先の開拓等を推進するなど、経営基盤の安定・強化に向けた取組を推進することが求められています。

## ○施策の課題

- ・創業にあたり商工会や金融機関等が連携して支援していく体制を強化する必要があります。
- ・中小企業の経営基盤を安定・強化するために、中小企業が連携し、新しい技術・商品開発に取り組むことが必要です。

## ○施策の方向性

### 創業支援の推進

創業支援事業計画に基づく創業支援体制の構築、相談連絡窓口の開設、創業支援事業者への補助などに取り組みます。

### 工業振興のための支援

商工業振興条例に基づく補助金の交付などを通じて、工業振興のための支援を行います。

### 中小企業等への側面的支援

市内中小企業への融資あっせんのほか、埼玉県西部地域産業ミニ商談会への支援など、特徴的なものづくりに対する支援に取り組みます。

## ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
支援による創業者数	支援を受けた創業者の人数から、効果的な支援ができているかを判断します。	年 8 件	年 15 件
埼玉県西部地域産業ミニ商談会の商談件数	商談会の商談件数から、経済の活性化が進んでいるかを判断します。	104 件	135 件

## ○協働のとりくみ方向 【行政主導】

入間市商工会が創業支援事業者となり、金融機関、専門家等と連携して創業支援に取り組みます。

## 第3節

### 観光の振興

#### ●政策目標

本市への来訪者に魅力を感じてもらうとともに、市民に愛着を感じてもらえるまちを目指します。

#### ●重点的取組

魅力事業化の推進

#### ●成果指標

指標	内容	現状値	目標値
観光入れ込み客数	観光入れ込み客数の状況から、観光施策の取組成果を判断します。	7,375,874人	7,500,000人
観光資源の活用と観光基盤の整備に対する市民満足度	市民意識調査の結果から、資源開発や活用の推進が図れているかを判断します。	-0.015	0.035

### 第1項 資源開発の推進

#### ○施策の目指す姿

既存の文化的・伝統的な観光資源に加えて、新たな観光スポット等が開発された、多様な魅力のあるまち。

#### ○施策の現状

自然環境、歴史等さまざまな地域資源はあるものの、観光資源としての編成作業が進んでおらず、本市の特徴や魅力として直接的にイメージし、発信できるような観光資源としての活用が図られていません。

#### ○施策の課題

- 本市の魅力を開発し、アピールする力を強くする必要があります。
- 埋もれている魅力を発掘する必要があります。

#### ○施策の方向性

##### 魅力の発掘

まちなか観光資源、自然環境資源、歴史文化資源等の発掘などに取り組みます。

##### 魅力の開発

本市の特性を活かした新たな観光資源の開発などに取り組みます。

#### ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
観光関係資料の発行数	市観光協会等が発行する観光関係資料の発行数から、魅力発信が進んでいるかを判断します。	5種	6種



観光関連パンフレット

#### ○協働のとりくみ方向 【市民と行政が対等】

顧客目線による観光資源として加工するために、市民とともに地域資源の見直しに取り組みます。

### 第2項 資源活用の推進

#### ○施策の目指す姿

市の魅力や新たな観光資源等を活用し、地域の活性化が進んだ多様な魅力のあるまち。

#### ○施策の現状

地域の魅力発信は行われているものの、体系化された効果的な取組は少ない状況です。効果的な情報発信を行うための情報の集積や、加工・発信等の手段や方法も確立されていません。

#### ○施策の課題

- ・ 地域の魅力を効果的に発信することで、資源の有効活用を図る必要があります。
- ・ 分散している観光資源をつなぐルートを整備する必要があります。
- ・ 観光資源について、積極的に情報発信をしていく必要があります。
- ・ 大型商業施設からの誘客の方策を検討する必要があります。

#### ○施策の方向性

##### 大型商業施設との連携

観光キャンペーン等の企画を通じて、大型商業施設との連携を図ります。

##### 観光コース等の開発

地域の魅力を具体的に体験できるコース等の開発を進めます。

##### さまざまな手法を活用した情報発信

効果的な観光資源情報拡散の手法を研究・検討・実施します。

## ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
SNS等のアクセス件数	市観光協会HP等へのアクセス数から、本市のPRが進んでいるかを判断します。	年4万件	年6万件
メディア掲載月数	市および市観光協会等が行った観光事業に係る情報のメディア掲載月数から、本市のPRが進んでいるかを判断します。	8ヶ月	12ヶ月

## ○協働のとりくみ方向 【市民と行政が対等】

市民、市内事業者と連携して、観光資源の市内外へのPRに取り組みます。

## 第3項 魅力事業化の推進

### ○施策の目指す姿

観光資源の魅力によって多くの来訪者をひきつけるとともに、市民が愛着を感じることができるまち。

### ○施策の現状

本市のイメージを一言で表せるような観光資源等が少ない状況です。さまざまな手法で観光商品等のブランド化を図っているものの、大きな成果は得られていません。

### ○施策の課題

- ・市民が地域の魅力を再発見できる事業を展開する必要があります。
- ・都市型観光に対する研究を進め、魅力ある事業につなげる必要があります。
- ・観光振興事業の中心となる観光協会の活動を支援する必要があります。

### ○施策の方向性

#### 市の魅力を再認識し発信できる環境の整備

市民がご当地の魅力を再認識し、市民自らが気軽に発信できる環境を整備します。

#### 観光振興事業の充実

観光協会等が行う観光振興事業の充実を図ります。

#### シビックプライド\*の醸成

まちに対して持つ誇りや愛着であるシビックプライドの醸成を進めます。

#### グルメ产品等の研究及び開発支援

市を代表するようなグルメや物産の研究および開発支援を行います。

\*シビックプライド：自分が住んでいる、働いている都市に対して「誇り」や「愛着」を持って、自らもこの都市を形成している1人であるという認識を持つこと。

## ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
観光振興事業の実施件数	観光振興事業の実施件数から、観光資源の有効活用の推進状況を判断します。	12件	13件
ご当地SNS等の整備	ご当地SNS等の市の魅力紹介等のメディア整備状況から、魅力をPRできているかを判断します。	新規	1件



観光振興事業の様子

## ○協働のとりくみ方向 【市民と行政が対等】

市民一人ひとりが「まちのセールスマン」となり、市のPR活動に取り組みます。

## 第4節

# 市民文化の振興

### ●政策目標

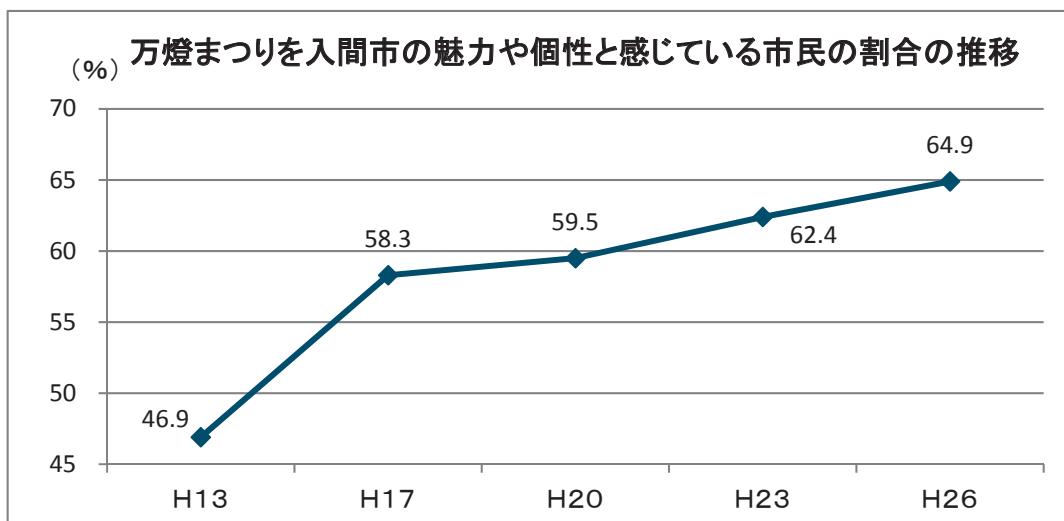
市民生活を営む上で必要な、楽しさ、感動、喜び、安らぎを創造するために、活気に満ちた市民文化が形成されたまちを目指します。

### ●重点的取組

市民文化創造

### ●成果指標

指標	内容	現状値	目標値
この1年間に芸術文化を鑑賞したことのない市民の割合	市民意識調査の結果から、文化振興の取組成果を判断します。	29.4%	25.0%
万燈まつりを本市の魅力や個性として感じている市民の割合	市民意識調査の結果から、市民文化創造に対する意識の向上の推移を判断します。	64.9%	65.4%
市民会館などの文化施設や文化活動内容に対する市民満足度	市民意識調査の結果から、市民文化の発信が図られているかを判断します。	0.260	0.310



## 第1項 市民文化創造

### ○施策の目指す姿

本市の特性を活かした市民文化が創造され持続される、魅力と活気に満ちたまち。

### ○施策の現状

さまざまな文化活動が、地域の活力や魅力あるまちづくりにつながっています。物質的な豊かさに加えて、心のゆとりや潤いを求め、文化活動への参加や優れた文化に触れる機会に対して市民の関心は高まっています。また、文化創造のための活動は、市民と行政の協働事業としてまちづくりの大きな原動力となっています。

## ○施策の課題

- ・市民文化の原点は、伝統に学び新しきを創造することにあり、そのことを共通認識する必要があります。
- ・本市の文化的特性を踏まえた支援の方法や方向性を示すことが必要です。
- ・市民文化の振興に関わる指針の策定に着手する必要があります。

## ○施策の方向性

### 入間万燈まつりの実施

独自の市民文化を創出する、市を代表するまつりとして継続実施します。

### 文化創造イベントの開催及び創出

参加者相互の交流による新しい地域文化の創造イベントを開催します。

### 「文化振興指針」の策定

市民文化の創造と振興を具体的・体系的に行うための指針の策定を検討します。

## ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
入間万燈まつりの来場者数	万燈まつりの来場者数から、市民文化の発信状況を判断します。	395,000人	400,000人
文化創造イベント太鼓セッションへの参加者	市民文化創造イベントへの参加者数から、文化創造への関心の高さを判断します。	9,500人	12,000人



入間万燈まつりの様子

## ○協働のとりくみ方向 【市民と行政が対等】

市民主体の実行委員会形式でイベントの企画運営を行うなど、事業を通じて市民と行政の協働のまちづくりに取り組みます。

## 第2項 市民文化の発信

### ○施策の目指す姿

多岐にわたる分野の市民文化に関する情報が発信され、文化の拠点となりうる施設が充実した、市民文化活動の盛んな活気に満ちたまち。

### ○施策の現状

市民の文化活動が、地域の活力や魅力あるまちづくりにつながるものとして重要視されています。さまざまな文化活動が行われている市民会館、産業文化センター、文化創造アトリエは、指定管理者制度を導入して、施設の管理と運営を民間団体が行っています。また、市民と行政が協働で運営し、本市の魅力を再発見できるテーマを設定するなど市民に開かれた市民大学を実施しています。

### ○施策の課題

- ・本市の魅力を再発見し、ともに学びながら良好なコミュニティと感性豊かな心を醸成させることで、市民文化を向上させることができます。
- ・市民が利用しやすい文化施設にするため、老朽化への対応も含めて計画的な施設整備を行う必要があります。
- ・市民の文化芸術の創造、交流、発信の拠点として、子どもから高齢者まで、文化芸術を通じた「学び」、「憩い」、「集い」、「交流」の場となる施設を整備する必要があります。

### ○施策の方向性

#### 文化施設の整備

市民ニーズに沿った、利用しやすい文化施設の整備に取り組みます。

#### 市民文化の情報発信

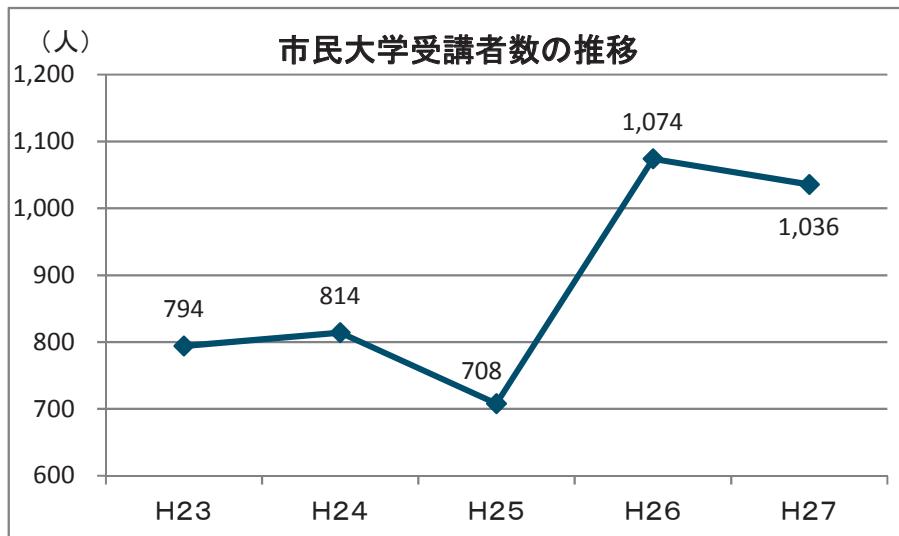
市民の文化活動の活性化を図るために、積極的な情報発信を行います。

#### 市民文化活動の支援

市民の文化活動を積極的に支援していきます。

### ○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
市民大学受講者数	市民大学受講者数から、市民文化活動の充実度を判断します。	1,036人	1,000人以上
文化創造アトリエの年間延べ利用者数	文化創造アトリエの年間利用者数から、文化施設の充実の達成度を判断します。	38,350人	40,000人



#### ○協働のとりくみ方向 【市民と行政が対等】

市民と行政との協働と、本市の特性を活かした市民文化が創造され続ける、魅力と活気に満ちたまちづくりに向けて、市民意見を反映させながら文化活動に取り組みます。